

所 属	警備部警備第二課		
担当(係)名	災害係	内線	5766

新 風水害対策用装備資機材の整備

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
2,492 (前年度 ー)	一般財源 2,492	備品購入費 1,320(風水害対策用資機材) 需用費 1,172(風水害対策用資機材)

2 背景・現状

昨年7月15日、中濃地域において、局地的集中豪雨により、甚大な被害が発生し機動隊等の警備部隊が被災者の救出救助などの風水害警備活動に従事した。

特に加茂郡八百津町の土砂崩れによる風水害現場においては、土砂、倒木等の流出が大規模で、重機による撤去作業と並行して手作業による土砂、倒木等の撤去を夜を徹して行った。

3 事業目的

局地的集中豪雨に伴う被災者の救出救助活動に必要な風水害対策用資機材を整備し風水害対応能力を強化し、救出救助活動の充実を図る。

4 事業概要

(1) 風水害対策用資機材の整備 1,320

○ バルーン投光機2台の整備

風水害を始めとする災害警備活動は夜間に及ぶ場合があり、現場周囲全体を明るく照らすことができるバルーン投光器を整備することで、同時に多人数による広範囲な活動を行うことが可能となり、夜間における風水害警備活動の強化を図る。

○ 大型チェーンソー1台の整備

土砂崩れによる風水害現場では、倒木や倒壊家屋の柱等風水害警備活動を妨げる物が多数あり、これら障害物を早期に排除するため、切断能力の高い大型チェーンソーを整備し、風水害現場での作業の迅速化を図る。

(2) 耐切創手袋の整備 1,172

風水害現場において手作業で土砂等を撤去する際、軍手着用では、泥が付着して作業に支障があるほか、土砂に混在するガラス片、木片等により部隊員が受傷するおそれがあることから、破れにくく受傷しない、耐切創手袋を警備部隊に整備し、風水害現場での安全・効率的な作業の実現を図る。

(款) 9 警察費 (項) 2 警察活動費 (目) (2) 刑事警察費 (明細書事業名) ○生活安全警察強化費 犯罪のないまちづくり対策費
